

対象：小学校高学年～高等学校

●課題のヒント： 新型コロナで医療はどうかわるのだろう

コロナウイルス感染の懸念がある中で、通院などで診療を受けたい人々への対応はどうなっているのだろう。「コロナ専用病院」，「コロナ専用病床」，「ゾーニング」，「遠隔診療」などの言葉を聞いたことはあるかな。より多くの人を手軽に、安心して診療を受けられる方法を考えてみよう。

●関連教科内容：

- ・保健 病気の予防，健康な生活と疾病の予防について
- ・国語 伝えたいことをわかりやすく伝える（紹介や報告）
- ・情報 ICTの実社会での活用（コミュニケーションの実現）

●参考にしてほしい活動のながれ

- (1) 病院が直面した課題は何だろう？（参考になるウェブサイト…A）
- (2) ヒントにあがっている単語を調べてみよう
- (3) 新型コロナウィルスと「オンライン診療」などICT活用の関係を調べてみよう（参考になるウェブサイト…B～C）
- (4) 家族の体調が悪くなったとき，どんな風に動けばよいか，いろいろな症状を想定して，キャンディチャートやステップチャートなどを使って，まとめてみよう。
- (5) 家族にまとめたことを伝えて，万一のときの具体的な動きを，一緒に考えてみよう。
- (6) 家族の誰かがオンライン診療を受けるときに手伝ってみよう。
- (7) みんながオンライン診療を活用しやすくするには，どうしたらよいか。自分にできることをまとめてみよう。

●活動の参考になるウェブサイト・図書情報：

A：医療機関における新型コロナウイルス感染症発生に備えた体制整備及び発生時の初期対応について（厚生労働省）

<https://www.mhlw.go.jp/content/000627464.pdf>

B：コロナウイルス期間中にオンライン診療を行いたい場合

<https://medionlife.jp/article/12/>

C：オンライン診療に関するホームページ（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu/rinsyo/index_00010.html